

豪雨のボスニアに 医療支援スタッフ

AMDA・岩本さん派遣



ボスニア・ヘルツェゴビナに
向かうAMDAスタッフの岩
本智子さん＝JR岡山駅

る。両国では非常事態宣言
が発令されている。

AMDAには、16日にボ
スニア・ヘルツェゴビナ北
部のバニャルカ市に住むA
MDAボスニア支部長の医
師からメールで救援要請が
あり、水や食料、せっけ
ん、電池など必要物資のリ
ストも送られてきた。

21日に岡山を出発したの
は、米国の看護師資格を持
つ岩本智子さん(30)。トル
コ、セルビア経由で22日に
現地に入り、必要な支援に
ついて現地で聞き取り調査
をする。そして今後の支援
の方向性を決め、31日に帰
国する予定だ。

現地では1990年代の
内戦中に埋められた地雷が
洪水で流されて移動してい
るといふ。岩本さんは「A
MDAの『救える命があれば
どこへでも』という精神
で、現地のニーズに合わせて
活動したい」と話した。

国際医療NGO「AM
D
A(アマダ)」(本部・岡

山市)は21日、120年間
の観測史上最悪となる豪雨
に見舞われたボスニア・ヘ
ルツェゴビナに緊急医療支

援をするためスタッフを派
遣した。

同国と隣のセルビアでは
13日から、3カ月分の雨が
3日間で降るといふ豪雨に
見舞われた。18日までに両